

## 口腔機能管理研究会 マスターコース開催報告

2023年11月12日(日)10:00~12:00

和歌山県歯科医師会館にて、口腔機能管理研究会 マスターコース勉強会を開催しました。

.テーマ:「口腔リハビリテーションを兼ねた口腔機能管理~歯科訪問診療における歯科衛生士の役割~」

講師:小室恵子先生・野村カオル先生

野村先生から、歯科訪問診療に必要な知識や流れ、口腔衛生管理について、小室先生からは、口腔リハビリテーションに係る筋肉と、むせに対する支援の仕方について講演いただきました。

動画によるデモンストレーションを視聴後、口腔リハビリテーション(口腔外・口腔内)と、口腔衛生管理の相互実習を行いました。

ここ数年、相互実習を控えてきましたが、いよいよ解禁です!今まで学んできた事をしっかり実践しました。

「やっぱり実際にやってみないとわからない事がいっぱいある」「繰り返し学ぶ事は、とても大切だと思う」との感想がありました。和

気満々と活気のある勉強会になりました。



## 「かつらぎ町糖尿病フォローアップ教室」開催報告

日時:2023年11月16日(木)10:00~11:30

演題:『いつまでも健口生活~歯周病と糖尿病の関係~』

講師:林 糸津香

参加者:60~80歳代の15名(糖尿病の方、糖尿病について学びたい方)

11月12日~11月18日は第59回全国糖尿病週間であり、ちょうどその週間に糖尿病関連の講演ができるという、グッドタイミングの日程となりました。

講演内容

●健康長寿のための歯と口の健康・糖尿病患者に認められる口腔内特徴●歯周病と糖尿病の関係

●セルフケア方法●早く気づいて対策を!!!オーラルフレイル

お口の健康が全身の健康に繋がることや、セルフケアやプロフェッショナルケアの重要性、口の環境を整えてしっかり噛める状態にすることが大切であることなどを伝えさせていただきました。更にオーラルフレイル予防として「滑舌を良くする訓練」と「舌の力を鍛える訓練」を皆さんと一緒に行いました。

講演後は、歯磨き方法、洗口剤、歯周病、デンタルフロス、インプラント等、色々気になることを質問して下さい、活発な質疑応答になりました。



## 和歌山県歯科衛生士専門学校での授業報告

2023年11月17日(金)

和歌山県歯科衛生士専門学校で、本会 小室恵子さん、野村カオルさんが講師として、3年生(41期生)に口腔健康管理の授業を行いました。

午前中は、「喀痰吸引の知識と手技」「舌の筋肉の緩和」についての講義、午後は実習となりました。

吸引実習は、マネキンを使用しましたが、粘膜排除を行いながら挿入部位や力加減に配慮しながら慎重に行いました。

口腔衛生管理は、モアブラシを使用した相互実習を行いました。患者役はチョコチップクッキーを咀嚼し、汚れを残した状態で口腔清掃がスタート! DH役は、患者さんに声がけをしながら、モアブラシをしっかり使いこなし、上手くケアが出来ていました。

41期生の皆様 体調に気をつけて、国家試験合格に向けて、頑張ってください!!!



## 街角歯科健診参加報告

日時:11月18日(土)9:00~12:30、11月19日(日)9:00~12:00

場所:和歌山市立和歌山高等学校『市高デパート』内 出務者:8名

『市高デパート』内にて、和歌山市歯科医師会主催の街角歯科健診が行われました。

①唾液検査によるむし歯や歯周病のリスクチェック②歯周病活性度③う蝕リスクチェック④オーラルフレイル(舌圧とお口の湿潤度)チェック

⑤お口の菌を見てみよう など、検査が無料で受けられました。

来場された方は、初めてのお口の検査に、ドキドキしながら、結果に一喜一憂していらっしゃいました。

検査の数値や色の変化を目で見られることにより、今のお口の健康度を分かってみることが出来たと思います。

むし歯や歯周病、入れ歯が合わないなど、食べ物を噛めない状態が続くと全身の健康に影響します。また歯周病は 糖尿病、心疾患、認知症、誤嚥性肺炎等の病気と関係があることがわかってきています。

歯ブラシと補助清掃用具を使ってお口の中をきれいに保ち、食事はよく噛んで食べ唾液を出すこと、そして定期的に歯科医院へ行くことなどを中心にアドバイスさせていただきました。(報告者:山下 千穂、神屋敷 久美)

## 診療所歯科衛生士研究会 勉強会③開催報告

2023年12月16日(土)15:00~17:00

和歌山城ホール4階会議室3にて、診療所歯科衛生士勉強会③を開催しました。

.テーマ:「TCHについて」

講師:吉田 俊香 先生

講演冒頭、吉田先生は「背筋を伸ばして座って軽く目を閉じてください」から始まり、受講者に「いま、上下の歯はどこを噛んでいますか?それとも離れていますか?」と、自分自身がTCHかもしれないとドキッとさせられました。

そんなTCHへの意識を高めた導入から始まった今回の講演では、TCHの定義、分類、臨床所見、診断方法、指導方法、行動変容、講師が実際に行っているケア方法、症例報告など幅広い内容をとても丁寧に講演していただきました。

講演中、何度かTCHの確認が行われました。時々確認することで気づきを持たせる「タイムサンプル法(リマインダー)」を実際に取り入れながらの講演がとても面白かったです。受講しながら行動変容の手法を実際に学ぶことができました。

TCHの今後としては「患者さんの口腔内をよく観察する事」が何より大切で、変化や気づきがあれば「最近何かありましたか?」また、メンテナンス時には「最近TCHはどうですか?」など、患者さんにこまめに声をかけ、患者さんに寄り添い、一緒に考えていながらTCHや食いばりの管理に取り組んでいきたいと思っています。



## 第3回生涯研修会報告

第3回生涯研修会報告

2024年1月28日(日)13:00~15:30

会場(和歌山ビッグ愛IF研修室)・WEB開催

演題「歯科衛生士が知っておきたい口腔がん術後リハビリテーションと薬剤関連顎骨壊死に対する考え方」

講師 松村 達志 先生(和歌山県立医科大学 口腔外科学講座 教授)

松村先生のご講演は、昨年の生涯研修会(前回2022年9月)に引き続き第2弾の開催となりました。

講演内容は、口腔がんの基礎知識をはじめ、口腔がんの術式や術後の口腔ケア、術後の摂食嚥下障害に対する取り組みを症例に基づいてご説明下さいました。

また、後半は薬剤関連顎骨壊死の最新情報について解説していただきました。顎骨壊死を起こさないためにも、正しい知識を習得しておくことがとても大切だと痛感しました。

周術期の患者さんの口腔衛生管理には、歯科衛生士の果たす役割はとても大きいことを実感しました。口腔ケアの技術だけではなく、患者さんの全身状態や服薬状況についても把握する事が重要であることを再認識しました。学んだことを日々の診療に活かしていきたいと思っています。

今回の研修会では、会場受講者12名、WEB受講者31名(内 他府県会員16名)が受講下さいました。受講下さった皆様、ありがとうございました。



## 和歌山県医療従事者表彰式



長年にわたり県内の医療機関でチーム医療の推進に貢献した医療従事者を称える、今年度の県医療従事者賞の表彰式が令和5年2月9日、県庁で行われました。

和歌山県歯科衛生士会田中旬子さんが岸本知事から表彰状とメダルが贈られました。この賞は、高い専門性を持ち、長年にわたって県内の医療機関でチーム医療の推進に貢献した医療従事者の功績を称えようというもので、県が平成25年度から毎年表彰しています。

「この度、和歌山県医療従事者賞を賜りましたこと、心から御礼申し上げます

皆様にご迷惑をお掛けしながらも、何とか成してこれたのも、ご支援、ご指導の賜物と深く感謝申し上げます

この受賞を機会に色々自分を振り返り、関わられた皆様との思い出に浸ることができました

今後益々、皆様のご期待に添えるよう精進いたしますので、宜しくお願い致します。(田中旬子)」



和歌山県歯科衛生士会は、1974年(昭和49年)に設立され、2024年に設立50周年を迎えることとなります。そこで、和歌山県歯科衛生士会は、50周年の記念事業を行うことになり、2024年9月1日(日)50周年記念祝賀会を開催することになりました。それに合わせて「和歌山県歯科衛生士会50周年記念誌」の発行を予定しております。

「会員からのmessage」として和歌山県歯科衛生士会会員の皆様からのmessageを募集します。

①テーマ★印象に残るエピソード★今後の抱負★入会後のわたしの変化★和歌山県歯科衛生士会に関することから100~250字以内

②好きな言葉または座右の銘として50字以内

Googleフォームを活用して寄稿お願い致しますが、これに限らず手書きの原稿でも可能です

3月31日(日)締切

QRコードを読み取りアンケートにお答えください→

